



國家圖書館 編

東亞同文書院

中國調查手稿叢刊

114

六月三日

六月三日
風も靜まつて今日は
ちと與希な太陽が
とハッキリ意思
かといふ。

國家圖書館出版社



國家圖書館編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

114

第一一四冊目錄

昭和四年（一九二九）調查報告（第二十六期生）

津張地方ニ於ケル羊毛

津張地區の羊毛

武川信佐

第二十卷

……………一

黑龍江省ニ於ケル家畜及牧畜

黑龍江省の家畜及畜牧

大久保英久

第二十一卷

……………八三

雲南省ニ於ケル阿片、藥材調査

雲南省の鴉片、藥材調査

寺崎修三

第二十二卷

……………一七五

滿州農家經濟狀況

滿洲農家經濟狀況

永島良一

第二十三卷

……………二三九

滿洲ニ於ケル都會ノ施設

滿洲的城市設施

藤原昇

第二十四卷 三七三

經濟的見地ヨリ觀タル奉海線ノ滿鐵ニ及ボス影響

從經濟角度觀察滿鐵在奉海線的影響

山本米雄

第二十五卷 四八三

山東の葉煙草

山東之煙葉

福滿篤

第二十六卷 五八九

昭和四年十月

津張地方ニ於ケル羊毛

第二十六期生

武川信佐

張氏家譜
卷之五
張氏家譜
卷之五
張氏家譜
卷之五

津張地方ニ於ケル羊毛

第一章 緒言

第二章

天津ヲ中心トスル羊毛

概

第一節

羊毛ノ一般状況並產地

(四)

第二節

羊毛ノ輸移出數量並價格

(六)

第三節

羊毛ノ種類

(九)

第四節

羊毛ノ品質

(十一)

第五節

羊毛ノ出廻状況並數量

(十二)

第六節

羊毛ノ輸出入状況並數量

(十三)

第七節羊毛出進口及經過地

(三)

第八節羊毛取扱業者

(三)

第三章 張家口を中心とする羊毛

第一節羊毛一般の状況

(一)

第二節羊毛産地及種類

(二)

第三節羊毛産額及價格

(三)

第四節羊毛出進口状況

(四)

第五節羊毛移出状況

(五)

第六節羊毛取引慣習

(六)

第七節羊毛取扱業者

(七)

第八節羊毛運送機関

(八)

完了

津張地方ニ於ケル羊毛

緒言

羊毛ノ生産ト云フモノハ皆無ト言フテヨム併シ
 羊毛ノ需要ニ至リテハ近年モスリン、セル地、及び洋服
 ノ流行ト共ニ大イニ増加シテ来タ然レニ牧羊事業
 ハ一向發達シナイト云フ珍妙ナ現象ノ結果ハ常用
 衣料ハスバテ之レヲ外國ニ仰カネバナラナイ状態デ
 有ルコト間ノ事情ヲ檢討シテ見ルニ日本ノ棉花輸入
 ハ毎年六七億圓ノ巨額ナルニ比シ羊毛ハ一億
 圓内外ノ輸入ト稀サレテナリ故ニ我國カ羊毛
 ニ對シ外國ニ支拂フ金額ハ棉花ニ比シ數分ノ一
 ニ過ヤサルカ如ク誤認サレ易キモ其實棉花
 ハ製品トシテ再ビ多量ニ輸出サルニ及シ羊毛ハ殆

インド全部国内ニテ消費セラレ且又棉花ハ原料
以外ノ製成品ノ輸入僅クナレトモ羊毛ハ絲及織物ノ
形ニテ輸出セラル、元ノ相當ノ多額ニシテ結局コノ兩
者ノ牧貿易ニ現ハル、入超額ハ近年テハ殆ンド伯
仲シ年々多リテハ羊毛及ソノ製成品ノ方が多額ノ入超
ヲ見テオル有様ナル。

サレバ我國ニ於テハ羊毛ハソノ輸入品中ノ主要ナル地位
ヲ占ムルモノナル、殊ニ歐洲大戦中、漸ク自給自足ニ
目醒メテ来タ結果、漸次滿洲方面ニ進出シ、蒙古
羊毛ノ有望ナルニ着目シ来レリ、蒙古羊毛ニ對シ深
ク關係ニアル露西亞人ハ此間ノ消息ヲたテテ如ク語ッテ
先トシテ注意セン、即チ

最近ニ至リテ日本ハ外國カラ羊毛ノ輸入ヲ仰クモノナ

(2)

独立自給セントスル傾向が顯著ニナリ来タ、日本ハ外
国カラ輸入スルコトヲヤメテ先ヅ蒙古ノ牧羊事業
ノ研究ヲ開始シ、蒙古羊ニ改良ヲ加ヒ、自国ノ羊
先會社ヲ蒙古羊ニ適應セシムル如シ。當ニ日本
内地ニ工場ヲ建設スルノミナラス、滿洲ニモ工場ヲ
計画シテキル、米國モ亦、絨氈製造用トシテ依然ハ
蒙古羊先ヲ購入シテキル以外ニ、大會社アメリカン
フールニ商會ハ淘澤ナル羊モト廉價ナル極東方面
ノ勞銀ヲ利用シ、且ツハ米國ノ高率ナル税金ヲ
免ントシ、極東ニ工場ヲ移轉セント既ニ實現ニ着手
セリト。

以上ノ如ク各國が畜産品ノ大需要ニ促サレテ蒙古ノ
家畜ニ大興味ヲ持ツテ来タ事情ヲ總合スレバ

蒙古ノ牧羊事業ニ必スヤソノ原始的ノ状態ヲ脱出
スルニトガ出来ルモノト推測サレテアル。

東支鐵道並ニ京奉鐵道ヨリ京綏鐵道ニヨリテ包圍サ
レテアル蒙古地方ニ於テ牧羊事業ヲ更ラニ適切ナル
方法ニ基キテ開發セシムヘキ凡テノ材料ハ十分ニ具
備シテアル。唯不足スルモノハ資本ト專門ノ智識ノミデ
アル而シテ蒙古羊ハ專門家ノ研究ニヨルト諸般ノ
利用方法ニ對シテ驚クヘキ優良ナル素質ヲ備ヒ
テアル故蒙古羊ノ剪毛量ヲ増加シ其品質ヲ向上
サセ乳量ヲ増大サセムトモ食用羊ノ種類ヲ改良スルコ
トモ何レモ只如良種ヲ選ビ適當ナル飼養法ニヨリテ
改良スルモノヲ最モ容易ニソノ目的ヲ達成スルノ
テアル。

次ニ支那ニハ超科学ノ科学アリ。超統計ノ統計カ
 アル。超統計ノ統計カ其結果支那ノ物産ハ極
 メテ小数ヲ除イテハ、産額出廻リノ實數ヲ知り得
 カルモノカアル。ソノ原因トモ言フベキモノヲ舉ゲレバ
 一、週期的ニ來ル水旱害及兵害ニヨルモノ
 二、生産者故意ニ自己ノ所産ヲ公表スルヲ欲セザル結果
 三、不當ナル課税ヲ恐レル結果
 四、其他支那特種ノ事情ニヨルモノ等ナリ。
 故ニ吾人ハ確實ニ統計ヲ全部得ルヲ能ハス、僅カニソノ近
 似數ヲ満足セザル可ラザルモノアルハ残念ナリ。

第二章

天津ヲ中心トスル羊毛

第一節 羊毛一般の状況並產地

天津ハ御養知ノ如ク北支那ニ於ケル一大貿易港ニシテ中心市場タルハ勿論ナル併シニ數年來天津貿易ニ絶大ノ惡影響ヲ及ボシテナルモアリ即チ海河通航不能ニレタル、昭和二年三月下旬ノ海河才一回泥鎖八月下旬才二回泥鎖ハ航運上ニ非常ナル障礙ヲ来タレ、春秋二季ノ輸移出入ノ始期ヲ減茶減茶ニシタルナル、加フルニ華商ノ漸進的發展及日本、本國ノ財界ノ不況ハ影響ヲシタル、殊ニ華商ノ發展ニシテハ滿洲ニ於テモ顯著ナルモアル如ク、邦商ハ漸次商場裡ヨリ放逐サレソ、アルノヲ痛切ニ旅行者ノ如キ者ニ

(4)

直々ニ觀取サレ得ルノ如ク、併シ天津ニ於テハ獨リ和
商ノミナズ、外商一般ノ苦痛ハ年毎ニ増大シテ往々予
ハ外國商ノ天津引キ揚ケヤ業務縮少ヤ聯合商業會
議所ニ於テ支那側不當課税及鐵道運輸阻害
ニ對スル痛切ナル苦情ノ絶上ルコトナキ事實ニ依リテ
元ノ一端ヲ窺フコトガ出来ルノ如ク、

サレド尚天津ノ貿易年額ニツキ見ルトキハ盛大ナル勢カヲ
把持シテサルコトヲ知ルコトガ出来ル、天津ノ貿易年額
ハ三億海關兩トナルヲサレ、殊ニ輸移入額ハ輸移出額
ノ二倍ニ達スルコトヲ特徴ヲ有シタル、ニ特徴ヲ究ムルト
キ吾人ハ茲ニ次ノ如キ答ヲ得ルヲ知ル、

即チ天津ハ輸出港トシテハ背後地ニ於ケル運 輸交通
ノ不備ト物資開發ノ不十分トカ天產物ノ出廻リヲ一

(5)

層経済的ニ且ソ詢澤ニナストヲ得ヤラシメ、又天津
地方ニ在ケル工業ノ不振ハ上海、及青島方面ヨリ支那
製造品ノ流入ヲ拒キテ、而テ自ラハ天津生産品ヲ余リ
多ク輸出シ得ヌカラデ、カハル特徴アル状態ニ於
テソノ輸出ノ大宗ヲ占ムルハ、綿羊毛、絨氈等ニシテ之ニ
次ヲ棉花アリ、而シテ綿羊毛棉花等ハ奥地ヨリ集リテ
此ノ地ニ来リ、多ク外國ニ向テ輸出サル、尤ノナリ。
天津附近ニハ羊毛ノ産スルモノアレド大ナラス、專ラ奥地ヨリ
来シ羊毛ヲ集散シ、輸出スル地トシテ顯ハレタムモノナル。
今試ミニソノ奥地ヨリ輸送サレテ天津ニ集リ来シモノ輸送経
路ヲ記セバ、

才一經路ハ察哈尔方面ニシテ多倫諾爾ノ中心地トモ云フヘ
久才二經路ハ庫倫ヨリ張家口ニ一度出テ、張家口ヨリ一